

# はばたき

橋北小学校  
学校だより  
No.11  
H30. 6. 15

今週からプールでの授業が始まっています。安全に楽しくプールの時間を進めていきます。プールのある時は、くれぐれも印鑑のもれのないようにお願いいたします。

また、今週は、読書週間やスーパー橋北っ子の取り組み週間で、朝は、代表委員会中心にあいさつ運動を行いました。さらに、6年生は社会見学が終わり、本日は4年生が社会見学と充実かつ忙しい1週間となりました。

## ◆算数の少人数指導について

本校では、4月より3年生から6年生の算数の授業において、少人数での授業を行っています。発表や練習の回数の時間を増やしたり、子どもたち一人ひとりへの支援をきめ細かく行ったりするために少人数学習という形態をとっています。

基本的には、どの学年も二つのグループに分け、担任と算数担当教員でそれぞれのクラスを担当指導します。二つのグループについては、均質に分けてスタートしています。教師は固定せず、単元で交代しておりますので、どちらの教師からの指導も受ける形になっています。

少人数指導では、他の分け方もあります。それぞれのお子さんの習熟の程度に応じた少人数指導、興味・関心等に応じた学習課題別の少人数指導です。ただ、興味・関心等に応じた学習課題別の少人数指導はほとんど行われておりません。

習熟の程度に応じた少人数指導においては、学習集団内の個人差を小さくできますので、お子さんに応じた教材や進度で学習を進めることができます。学習のねらいは同じですが、基本コース、発展コースなどのように分かれて行い、均等な人数に分かれない場合がありますが、進度は合わせて行います。

また、一つの教室に二人の指導者がいて、一人が授業を行い、もう一人が支援を行う方法もあります。これを複数の教師によるT・Tと言います。T・Tでは、一斉指導の途中から、同じ教室内で均質、興味・関心、習熟の程度に応じた学習集団に分けて指導する方法などありますが、本校においてのT・Tは一人が授業を行い、もう一人が支援を行う方法がほとんどです。

どの学年においても、学級の状況を考慮して、一人ひとりの子どもたちの学習意欲や学力の向上を図っていきたくと考えます。したがって、今後、学年によりましては、学習のねらいにあわせて、指導方法が習熟度別の少人数になったり、T・Tの形をとったりする場合がありますことをお知りおきください。なお、習熟度別になった場合の学習コースは、担任からのアドバイスも必要に応じていたしますが、お子さんの希望を優先したいと思えます。

学習形態が変わる場合には、あらかじめ担任より連絡いたしますので、算数の少人数指導についてのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら、学校にお問い合わせください。



## ◆ノーテレビ・ノー携帯デーの取り組みを振り返って（5月実施）

### 【子どもたちの振り返りより】

- ◆ちゃんとやればできるんだなと思いました。今回けっこう出来たと思います。特に勉強をすることができたので良かったです。（6年生）
- ◆この1週間で自分の生活を振り返ることができたので、これからもきそく正しい生活をしたいです。（6年生）
- ◆ふだんしないこととかを時間があったりして、いつもとはちがう1週間でした。これからも心がけたいです。（5年生）
- ◆テレビと学習の時間は守れなかった時が多かったので、もっと時計をみて自分からできるようにしたいです。（4年生）
- ◆ママに言われる前に少しずつ自分からやれるようにとりくんでいきたいです。（3年生）
- ◆朝は元気に起きられました。復習が少なかったです。（2年生）
- ◆きめられたじかんをまもるためにとけいをみるようになりました。（1年生）

### 【保護者の方から】

- ★よく外で遊んで健康的でした。ネットをみる時間も少し減ってよかったです。（6年生保護者）
- ★自主的に行動していて、ルールを守ろうという気持ちが見えてよかったです。（5年生保護者）
- ★40分学習するのは難しいね。朝の時間にがんばろうね。（4年生保護者）
- ★まだなかなか自主的にはしないので、できるようになってほしいと願っています。（3年生保護者）
- ★意識することで、毎日が生き生きとして元気な1週間でしたね。（2年生保護者）
- ★目標にむかってまいにちがんばってとりくんだね！（1年生保護者）
- ★テレビ等長い間みてしまうので、声掛けを今以上にしていきます。（1年生保護者）
- ★このようなチェックシートのお陰で意識が高まり有難かったです。引き続き意識しながら過ごせたらと思っています。（1年生保護者）

子どもたちのさまざまな日常生活の様子が伺えました。掲載したものは一部ですが、自分自身の生活を振り返るいい1週間になったのではないのでしょうか。

子どもたちの日常生活というのは、将来の職業生活の基礎となるもので、特に児童期（6歳から12歳）の子どもたちは、日常生活のリズムを規則正しく歩むことが大事です。そのためには、ここにもあるように、まず、朝が元気に起きられることはとても大切です。



また、勉強に集中できたり、時間の有効活用について考えるきっかけになっている様子が見られたりしました。このように「やればできた」と自分の自信になったと感じる子どもたちが一人でも増えればと思います。さらに、低学年のうちから時計を見て、行動できるようになることも、時間を管理するために大事なことです。

今後もこのような取り組みを利用してよりよい生活習慣の確立や家族とのコミュニケーションを深めていってください。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。これからもご理解ご協力をお願いいたします。

